まちの話題

未来に向けての新たなスタート 市内４会場で成人式を開催

１月13日、文化会館・一色町公民館・吉良町公民館・幡豆ふれあいセンターの４か所で、「Start Line」をテーマに平成25年成人式が行われました。式典の開会前から会場では晴れ着に身を包んだ新成人たちが懐かしい友人との再会を喜び合い、記念撮影する姿が見られました。式典やアトラクションでは、実行委員たちが式を盛り上げようと趣向をこらした企画を披露。新成人1,818人のうち1,461人が出席し、旧友や恩師らと過ごすひとときを楽しみながら、人生の新たな一歩を踏み出しました。

県指定文化財 西福寺鐘楼修理現場見学会

１月19日、西福寺（吉良町）の鐘楼修理現場見学会が行われました。説明会には地元の歴史愛好家をはじめ約100人が参加。実際の修理作業を目の前に担当の建築士の解説に聞き入っていました。この鐘楼は、明治期の神仏分離令により、本殿・拝殿・随身門などの建造物が国指定重要文化財となっている伊賀八幡宮（岡崎市）から移築されたもので、それらの建造物と同様の意匠や技法が用いられています。春の彼岸のころには鮮やかに塗り直された姿が披露されます。

それぞれの目標に向かって 第46回一色マラソン大会

１月27日、一色マラソン大会が一色町体育館周辺で行われました。

冷たい潮風が吹き付ける中、約半世紀の歴史あるこの大会に全国各地からランナーが集結。遠くは長崎県からの参加者もあり、２㎞～ハーフマラソンの各部門に過去最高の3,721人がエントリーしました。沿道の方々の応援や、大勢のボランティアスタッフの協力に支えられ、参加者はそれぞれの目標に向かい、鍛え抜いた走力を競っていました。

TOWN NEWS

1/17 10歳の成長を祝う 横須賀小学校「二分の一成人式」

横須賀地区コミュニティ推進協議会の主催で行われ、4年生87人から感謝の手紙が保護者一人一人に手渡されました。

1/19・20 Vプレミアリーグ女子西尾大会

総合体育館で行われ、地元のデンソーエアリービーズが出場。熱い戦いが繰り広げられました。

1/24 一色中部小学校 大なわとび大会

創立140周年を迎えた同校で開催。学年の枠を超えたチームで、他学年の児童との交流を深めながら、皆元気よく跳んでいました。

1/28 寺津保育園で バルーンアートショー

パフォーマー「グリーンピース」が次々に作るバルーンアートに園児たちは歓声を上げていました。

2/3 市文化事業 桂米朝一門会

一色町公民館で開催され、参加者は上方落語を満喫。会場には大きな笑い声が巻き起こっていました。

今月の表紙

2月3日、佐久島で行われた黒壁運動＆里山づくり。この活動は、島の自然や景観を守ることを目的に毎年続けられています。「三河湾の黒真珠」と呼ばれる黒壁の民家が並ぶ家々を、ボランティアの皆さんが黒いペンキで塗り替えている様子を撮影しました。

編集後記

一色マラソンの取材に行ってきました。ちびっ子から、コスプレイヤー、82歳のベテラン選手まで、皆さん「完走」「自己ベスト」「大切な人を思いながら…」など、それぞれの目標や思いを込めて走っていました。カメラを向けると笑顔で手を振ってくださる方もいて、思わず「がんばってください」と声を掛けると、「ありがとー！」と元気な返事。走るだけでも大変なのにリアクションを返してくれるその心意気に感激し、とてもハッピーな気持ちになりました。（A）

み んなで守ろう文化財 文化財防火デーに伴う防火訓練

1月24日、文化財防火デーに伴う防火訓練が、市指定文化財「椰子実水飲・金紫銅之水容　付三葉葵の紋付袋並に箱」を所蔵する西幡豆町の安泰寺で行われました。本堂近くの雑木林からの出火を想定。住職らが文化財を持って避難し、消防職員と消防団員が雑木林へ放水を行いました。その後、地元の住民や幡豆小学校6年生の児童が参加し、消火器を使った初期消火訓練も行われました。

訓練を終えると児童たちは本堂に移動し、実物の文化財を見学。徳川家康ゆかりの水飲や水容を興味深げにのぞき込んでいました。

千 二百年引き継がれた天下の奇祭 鳥羽の火祭り

2月10日、1,200年前から伝わる国指定重要無形民俗文化財の神事「鳥羽の火祭り」が鳥羽神明社で行われました。昼間は、神男2人と奉仕者約120人が海へ入り身体を清める「みそぎ」が行われました。

夜になり、火打ち石による火が巨大なすずみに点けられ祭りは開始。福地と乾地の2地区に分かれ、すずみの中から神木と十二縄を早く取り出すことを競います。勢いよく燃え盛る炎の中に、ネコと呼ばれる奉仕者たちが次々と飛び込んでいくと、火の粉をかぶりながら炎に向かっていくその勇姿に、境内いっぱいに集まった観客から歓声が沸き起こっていました。